

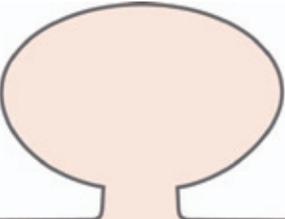
《土器》



(掲載ページ：生徒用P. 10)
写真提供・協力：山形県埋蔵文化財センター

《体内、食物中の自然放射性物質》

●体内の放射性物質の量



カリウム40	4000ベクレル
炭素14	2500ベクレル
ルビジウム87	500ベクレル
鉛210・ポロニウム210	20ベクレル

(体重60kgの日本人の場合)

●食物(1kg)中のカリウム40の放射性物質の量(日本)(単位:ベクレル/kg)

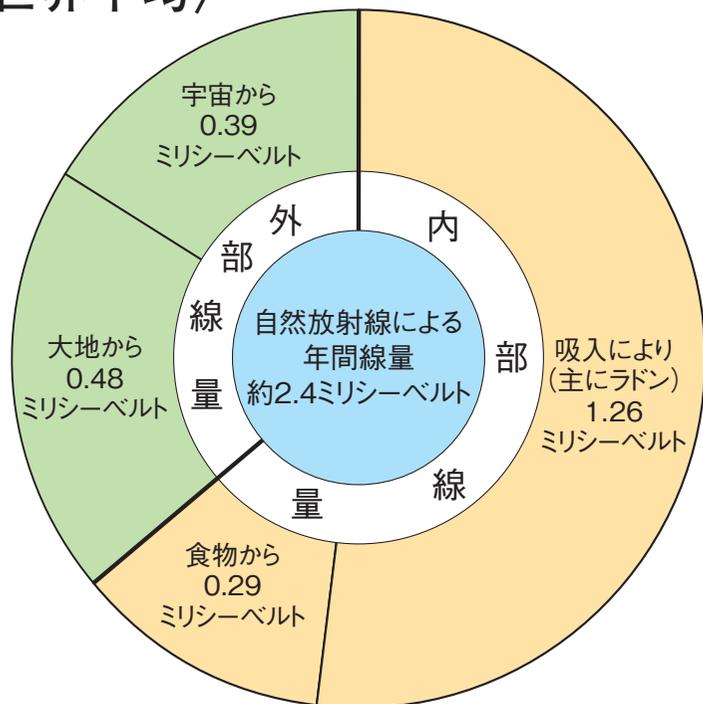


干し昆布 2000	干しいたけ 700	ポテトチップ 400	
生わかめ 200	ほうれん草 200	魚 100	牛肉 100
牛乳 50	食パン 30	米 30	ビール 10

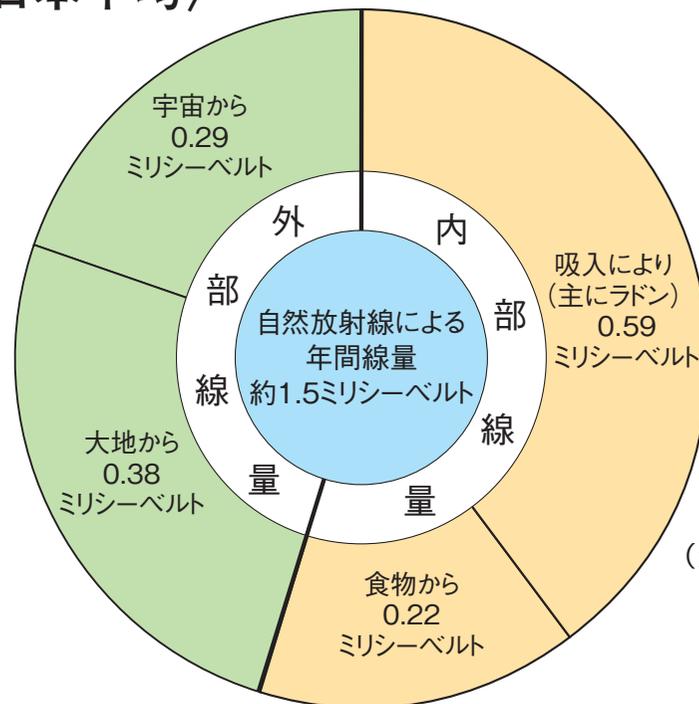
出典：(財)原子力安全研究協会
「生活環境放射線データに関する研究」
(1983年)より作成

《自然界から受ける放射線量（一人当たりの年間線量）》

〈世界平均〉



〈日本平均〉



(注) 2005年に日本分析センターから、自然界から受ける年間の放射線量2.2ミリシーベルトという数値が公表されています。

出典：原子放射線の影響に関する国連科学委員会 (UNSCEAR) 2008年報告、(財)原子力安全研究協会「生活環境放射線」(1992年)より作成

《外部被ばくと内部被ばく》



外部被ばく
体の外にある放射性物質から出る放射線を受けます。



内部被ばく
放射性物質が含まれる空気や飲食物を吸ったり摂取したりすることによって、放射性物質が体の中に入り、体の中から放射線を受けます。